

電気ストーブ・電気温風暖房機の気をつけるポイント

(平成 28 年 11 月 25 日作成)

○ストーブで衣類を乾かしたり、周囲に可燃物を置いたりしない。

電気ストーブや石油ストーブの上で衣類を乾燥させると、乾燥によって軽くなった衣類が上昇気流で煽られることで落下し高温部に接触して、火災の危険があります。またストーブ前方に干しても、放射熱によって過熱されたり、空気の対流によって衣類が高温部に接触したりすることがあります。冬場に、室内の加湿目的と合わせて衣類を乾燥させる方もいるようですが、危険です。



(写真) 電気ストーブに衣類が接触して発火する様子 (イメージ)

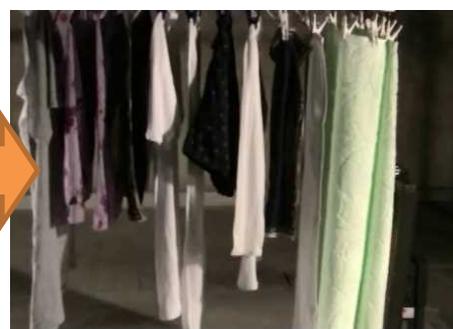
電気ストーブ等の周囲に布団や衣類などを置いたり、カーテンの近くに電気ストーブ等を置いたりすると、放射熱による過熱や高温部への接触によって、火災が発生するおそれがあります。



たとえ離して置いたとしても…



空気の対流によって衣類が動き接触するおそれがあります



○外出時には電源を切る。

○就寝時には使用しない。

つけたまま就寝することは危険です。寝具が高温部に触れる等によって着火するおそれがある上、発見が遅れ、大きな火災となるおそれもあります。



(写真) 電気ストーブに布団が接触して過熱される様子

○電源プラグを差し込んだまま、電気ストーブを移動しない。

電気ストーブでは、電源プラグと電源コードの付け根（コードブッシング部分）でコードが断線し、スパークが発生し火災に至っています。電源プラグをコンセントに差し込んだまま電気ストーブを移動したり、電気ストーブ保管時に電源コードを本体にきつく巻き付けたりしないでください。電源コードに無理なストレスが加わり、断線するおそれがあります。

